

株アリスコーポレーション

アフラックサービスショップ

万が一を補う総合金融サービス目指す

株アリスコーポレーション(本社・東京都板橋区、安藤大介代表取締役社長)は、「保険の文化を変えること」を目的に掲げ、顧客主体のサービスを提供するアフラックサービスショップだ。

受け、これまでの仕事に対する信念が初めて揺らいだ。どうすれば軌道修正できるのか。山田氏の語る、案内と販売の違いを、案内と販売の違いを、理解、浸透させるために1年以上考え続けた」と安藤社長は話す。



ハッピーロード大山店ショップ内



ハッピーロード大山店外観

同社設立は1994年。アフラックが保険の優位性と商品力にほれ込んだ安藤会長が個人代理店として創業。順調な成長を続け、個人代理店として優秀な成績を収めた。2002年1月、安藤社長が入社。同年5月、社員を1人増やし、さらなる活躍の場を求め、所沢にアフラックサービスショップをオープンした。



安藤氏

同時に、後にマイコミユニケーション(株)を設立し、「殴られたような衝撃を運ぶ」という山田氏(現マイコミユニケーション代表取締役)と出会い、革新的な新体制の構築が始まる。「殴られたような衝撃を

04年1月、「きちんと保障を案内し、お持ちいただき、ずっとお世話し続ける」という企業理念を掲げ、既契約者の比率が多い板橋区大山へ移転。理念を共有できる人材を選んで採用し、社員を増員した。同社では来店客すべてに「世帯別お客様カード」を作成し、来店時の状況や顧客とスタッフの間で交わされた

「お客さまの来店目的にかかわらず、一様にきめ細かい対応をすること」が重要。保険の入り口から出口までのすべてのプロセスに気遣いを持って、お客さまに接することにより、理念が全うされる。結果として、顧客満足度が上がり、会社の存在価値が出る」と話す。安藤社長は、細分化された指標を日々チェックし、分析を行い、理念実現度を数値化し、検証する。

同社が考える「保障の持ち方」とは、将来想定されるあらゆる経済的な不安を払拭する対策であり、サービスショップの果たす役割は、当然ながら

ライター 9月の個人投資家調査を発表 8月株安局面で7割超が損失

ライター・ジャンバンは9月7日、「ライター個人投資家9月調査」の結果を発表した。

今回の調査で、サブプライムローン問題に端を発した世界株安局面で、自身の株式投資はどのような影響を受けたか聞いたところ、「損失を出した」が73%に達し、「利益を出した」は4%にとどまる結果となった。今年3月の同調査では、2月末、3月初めの株急落局面で「損失を出した」とした回答は61%であり、今回は損失を出した個人投資家の割合が3月の調査時を上回る結果となった。

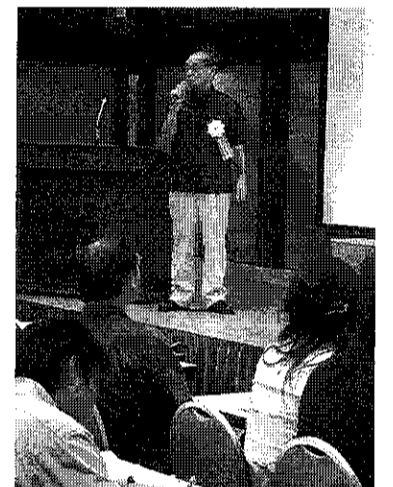
07年度沖縄県企業誘致セミナー開催

仲井真知事が経済特区を中心とした企業進出のメリットをアピール

沖縄県

沖縄県主催で9月6日、「2007年度沖縄県企業誘致セミナー」が都内のホテルフロラシオン青山で開催された。これは、同県のみ認められた「金融業務特別制度」「情報通信業務特別制度」「特別自由貿易地域制度」における税制

上の優遇措置や各種助成制度などを紹介したり、自然環境を含めた立地条件上のメリットをPRする中で、同県への企業進出を促そうという催しで、東京地区と大阪地区で毎年開かれている。当日はさまざまな業界から170人を超える企業関係者が集まり、盛大に行われた。



講演する仲井真知事

「と、予算要求や規制緩和などを通じて同県を支援していくことを約束した。プレゼンテーションとして仲井真知事(なかいま)が、まず共催者である第1部の「セミナー」では、まず共催者である内閣府から岸田文雄沖縄・北方担当大臣があいさつし、「政府としても沖縄県の産業育成のため、積極的にバックアップをしていかなければならな

次に、「アジアのまが、沖縄に企業進出した」ことで認識したメリットとデメリットを述べた後、大澤氏は「企業価値をさらに高めるための仕組みが沖縄で生まれていく」という言葉でディスカッションを締めくくった。

同アンケート調査は8月26日から9月2日にかけて実施され、全国117人から回答を得た。調査期間中は、サブプライムローン問題を起点にした市場の混乱が一服し、株価が戻っていた。